2020年度　　授業概要

科目名	老年期学				授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8 回	時間数	15 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年時期	2年 後期

【授業の目的・ねらい】
高齢者の取り巻く環境や高齢者自身の捉え方、高齢者特有の状況や疾患を理解する。

【実務者経験】

【授業全体の内容の概要】
老化と加齢の違い、高齢者へのアプローチ手法、特有疾患群の理解を幅広く学ぶ。

【授業終了時の達成課題（到達目標）】
高齢者を理解できる。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う変化（生理機能・運動機能・精神心理面）	
2	高齢者へのアプローチ（高齢者の定義と人口動態、高齢者との接し方、高齢者の機能評価、高齢者の薬物療法の考え方）	
3	高齢者に特徴的な疾患（老年症候群、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患、神経疾患、内分泌代謝疾患、血液免疫疾患、腎疾患、泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患、感染症、耳鼻咽喉疾患、眼疾患	
4	高齢者に特徴的な疾患（認知症）	
5	高齢者に特徴的な疾患（認知症）	
6	高齢者に特徴的な疾患（認知症）	
7	高齢者に特徴的な疾患（うつ）	
8	高齢者を取り巻く環境、高齢者の終末期医療	
	定期筆記試験	

【使用教科書・教材・参考書】
標準シリーズ老年学

【準備学習・時間外学習】
1回での講義の幅が広いため、復習として整理していくことが必要である。特に、認知症は十分理解しておく必要がある。

【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】
試験の結果を100点満点として成績を評価する。
試験は定期筆記試験を100点とする。
60点以上の場合に科目を認定する。